

## 一 教学入門 ⑤ 立正安国と広宣流布

※立正安国について、空欄に適切な言葉を入れて次の文章を完成させなさい。

( 立正安国 )とは「正を立て国を安んずる」との意味です。  
御書に「汝須く一身の安堵を思わば先ず( 四表の静謐 )を禱らん者か」とあるように、自分ひとりだけの安泰を求める考えは仏法にはなく、仏法の生命尊厳の理念が社会の基本原理として確立し、社会の平和繁栄と人々の生活の安穩を実現することを目指します。  
創価学会の( 平和 )・( 文化 )・( 教育 )・人権などの活動は立正安国の実践そのものです。

平和	文化	教育	立正安国	広宣流布	四表の静謐
----	----	----	------	------	-------

※広宣流布について、語群から適切な言葉を選んで次の文章を完成させなさい。

釈尊が法華経の中で「我が滅度の後、後の五百歳の中、( 閻浮提 )に広宣流布して、断絶して悪魔・魔民・諸天・竜・夜叉・鳩槃荼等に其の便を得しむること無かれ」と説いたように、( 末法 )における世界広宣流布は仏の使命であり、それは( 三障四魔 )との戦いでもあります。

そして御書には「日蓮が( 慈悲 )曠大ならば( 南無妙法蓮華経 )は万年の外・未来までもながるべし、日本国の一切衆生の盲目をひらける( 功德 )あり、( 無間地獄 )の道をふさぎぬ」と、末法における広宣流布は大聖人の誓願であると書かれています。

さらに御書に「大願とは( 法華弘通 )なり」

「日蓮と同意ならば( 地涌の菩薩 )たらんか」とあるように、

その大願は( 地涌の菩薩 )に託されています。大聖人の御意向のままに世界広宣流布を現実に進めている団体は( 創価学会 )だけです。

末法	地涌の菩薩	創価学会	南無妙法蓮華経	閻浮提
法華弘通	三障四魔	慈悲	勇氣	功德
				無間地獄